

全剣連第 02-231 号  
令和 2 年 11 月 10 日

都道府県剣道連盟会長 殿  
全 剣 連 役 員 殿

全日本剣道連盟  
会 長 張 富士夫  
[公 印 省 略]

## 第 68 回 全日本剣道選手権大会

### 第 59 回 全日本女子剣道選手権大会開催について

本連盟においては、標記大会を別紙要項により実施いたします。

各連盟におかれましては、天皇杯および皇后盃授与大会にふさわしい選手をご派遣くださり、本大会が優秀なる成果を収められるようご協力をお願いします。

# 第 68 回 全日本剣道選手権大会要項

全日本剣道連盟

## 1. 趣 旨

剣道の普及振興を図るため、各都道府県剣道連盟登録会員の中から最も心技力に優れた選手により、天皇杯の獲得を目指し優勝を争い、広く剣道愛好者に披露すると共に剣道の真価を世に示し、一般の認識を深めようとするものである。

## 2. 期 日

令和 3 年 3 月 14 日(日) 午前 9 時 00 分開会／午前 9 時 30 分試合開始

## 3. 会 場

長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」  
(長野県長野市真島町真島 2268-1) 電話 026-283-7977  
※別紙案内図参照

## 4. 主 催

公益財団法人全日本剣道連盟

## 5. 主 管

一般財団法人長野県剣道連盟

## 6. 後 援

スポーツ庁(申請中)  
長野県・長野県教育委員会・公益財団法人長野県体育協会・長野市  
読売新聞社・公益財団法人日本武道館

## 7. 選手権者の決定

各都道府県剣道連盟より選出された代表選手による、トーナメント方式によって選手権者を決定する。

## 8. 出場選手資格および人員

(1) 各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している男子。

(2) 年齢は満 20 歳以上とし、段位の制限はしない。

(年齢計算は、今大会前日の令和 3 年 3 月 13 日を基準とし、平成 13 年 3 月 13 日以前に生まれた者)

(3) 予選会出場は一ヶ所とする。違反した者は出場を取り消す。

予選会出場者は、令和 2 年 4 月 30 日以前から本大会参加時まで、引き続き当該都道府県剣道連盟の登録会員であること。

(4) 出場選手人員は次のとおりとする。

ア 東京	4 名
イ 埼玉・千葉・大阪・福岡	3 名
ウ 北海道・茨城・神奈川・静岡・愛知・兵庫	2 名
エ その他の府県	1 名

計 64 名

9. 出場選手の申込み

令和3年2月18日(木)までに別紙に定める申込様式により全日本剣道連盟に写真を添え送付すること。

\*〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2階  
全日本剣道連盟  
(電話) 03-3234-6271 (FAX) 03-3234-6007

10. 組合せ

大会役員において、抽選を行い決定する。

11. 試合・審判および試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインに記載の試合方法による。
- (2) 試合はトーナメント方式により、優勝、第二位、第三位(2名)を決定する。
- (3) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、勝敗の決するまで継続する。

12. 剣道用具の取り扱いについて

本大会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下のとおりとする。予選会も同様に扱うこととする。

- (1) 選手は、大会で使用する剣道用具について、「剣道用具確認証」を提出すること。  
(「17. 安全管理」参照)
- (2) 竹刀については次の事項を遵守すること。また大会当日に、計量・検査を必ず受けること。
  - 竹刀の長さ(全長・先革長)、重さ、太さ(先革先端対辺直径値および先端より8cmのちくとう部対角直径値)は、表1、表2および図のとおりとする。
  - ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。
- (3) 小手については次の事項を遵守すること。
  - 小手は、こぶしと前腕(肘から手首の最長部)の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
  - 小手ぶとん部のえぐり(クリ)の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。
- (4) 面については次の事項を遵守すること。
  - 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (5) 剣道着については次の事項を遵守すること。
  - 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。(構えたときに肘関節が隠れること)

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ

長さ (全長)	重さ	太さ	
		先端部最小直径	ちくとう最小直径
120センチメートル以下	510グラム以上	26ミリメートル以上	21ミリメートル以上

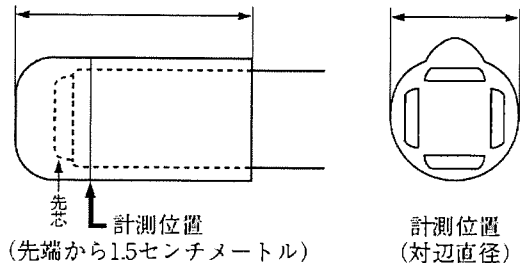
表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ

	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大刀	114センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上
小刀	62センチメートル以下	280～300グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

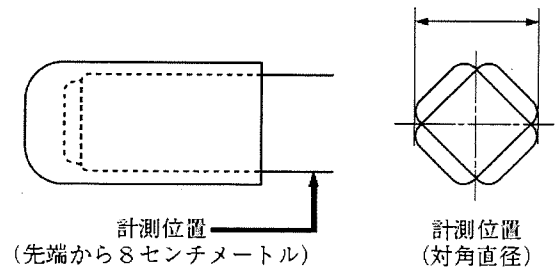
図 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



### 13. ドーピング検査の実施について

本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。本大会出場者は、大会に申込みした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとする。

本大会出場者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規程違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規程違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

また、アンチ・ドーピング規程に違反した場合の制裁等の内容に不服の場合、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構に仲裁を付託し、その判断に従うこと。

### 14. 表彰

- (1) 選手権者には、天皇杯・優勝旗・優勝杯・賞状および賞品を授与する。
- (2) 第二位・第三位に賞状および賞品を授与する。
- (3) 優秀選手には、優秀選手賞を贈る。
- (4) 出場選手には参加賞を贈る。

### 15. 審判会議および選手打合せ会

- (1) 審判会議 令和3年3月13日(土) 午後2時  
長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」  
(長野県長野市真島町真島 2268-1) 電話 026-283-7977
- (2) 選手打合せ会 令和3年3月13日(土) 午後4時30分  
長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」  
(長野県長野市真島町真島 2268-1) 電話 026-283-7977

16. 選手の経費

選手の旅費、宿泊費は各都道府県剣道連盟の負担とする。

17. 安全管理

出場者は、各自十分健康管理に留意し本大会に出場すること。また、出場選手は、健康保険証を持参のこと。

出場者は、大会での使用用具を事前に確認し、別紙「剣道用具確認証」を、竹刀計量・検査時に提出すること。

主催者において、試合実施中、傷害発生の場合は、医師または看護師により、応急処置を講じ、病院等で治療を受けられるように手配する。この場合、当日の治療費(手術、入院費は含まない)は主催者が負担する。AEDを常備する。

なお、主催者は大会中に出場選手の事故に対し(大会会場への往復途上を含む)、傷害保険に加入する。

18. 個人情報等への取り扱い

※以下を申込者に周知して下さい。

申込書に記載される個人情報(登録県名、称号・段位、漢字氏名、カナ氏名、年齢、生年月日、住所、電話番号、職業等)は、全日本剣道連盟および地方代表団体(各都道府県剣道連盟)が実施する本大会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表することがある。更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

(1) 全剣連および報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

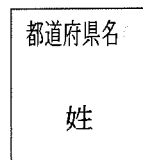
(2) 全剣連および報道機関等が撮影した映像が、中継・録画放映およびインターネットによる配信で公開されることがある。

(3) 全剣連の許可を受けた者によって、撮影された写真および映像が販売されることがある。

19. その他

(1) 出場選手は、剣道具の垂中央に黒または紺色に白で都道府県名(横書き)、姓(縦書き)を明記した布製の名札を必ず着けること。

(凡例)



黒または紺色の  
布地に文字は白

(2) 出場選手は、主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインに従い面マスク等を着用すること。

(3) 出場選手は、入場時「選手確認票」を提出すること。

(4) 出場選手は、閉会式に全員参列すること。

(5) 今後の感染拡大の状況により、試合方法等が変更となることがある。

# 第68回 全日本剣道選手権大会 第59回 全日本女子剣道選手権大会次第

全日本剣道連盟

令和3年3月14日(日)

(開場 午前8時20分)

於・長野市 長野市真島総合スポーツアリーナ

「ホワイトリング」

順序	種 目	摘 要	予 定 時	所要時間
1	係 員 集 合		8 : 00	
2	選 手 集 合		8 : 15	
3	役 員・審判員整列		8 : 50	
4	選 手 整 列		8 : 55～ 9 : 00	. 5
5	開 会 式		9 : 00～ 9 : 15	. 15
6	日 本 剣 道 形		9 : 15～ 9 : 25	. 10
7	試 合 1 回 戦	4試合場(各16試合)	9 : 35～12 : 15	2. 40
8	試 合 2 回 戦	4試合場(各8試合)	12 : 15～13 : 35	1. 20
9	試 合 3 回 戦	4試合場(各4試合)	13 : 35～14 : 15	. 40
10	試 合 4 回 戦	4試合場(各2試合)	14 : 15～14 : 45	. 30
11	試 合 準 決 勝	2試合場(各2試合)	14 : 55～15 : 25	. 30
12	試 合 決 勝	2試合場(各1試合)	15 : 35～15 : 50	. 15
13	閉 会 式	表 彰	16 : 00～16 : 25	. 25

備考 ○試合方法 (1) トーナメント方式により行う。

(2) 試合は3本勝負、試合時間5分とする。

試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦

を行い、先に1本取った者を勝ちとする。な

お、延長戦に入ってから試合時間は3分区切

りで、勝敗の決するまで継続する。

○4回戦までは、2試合場で行う。

○NHK BS1 13:00～16:00 放映予定。

○日程の変更がある場合があります。

# 案内図

【会場名】 長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」  
【所在地】 〒381-2204  
長野県長野市真島町真島 2268-1  
【電話】 026-283-7977



## 【交通】

・『JR長野駅』東口より車で約20分。

# 第68回 全日本剣道選手権大会申込書

登録連盟【都道府県名】	ふりがな	最終学歴（学校名）			
	氏名	旧姓			
生年月日	年 月 日	満 歳	出身地		
現住所	〒				
自宅☎	携帯☎				
	メールアドレス				
称号	士 年 月受領	段位	段 年 月受領		
職業名	職場☎				
●教員は学校名●会社員は社名・役職●警察関係は階級のほか所属●学生は学校名と学年					
得意技	例・メン	構え	(いずれかに○をして下さい)	本大会 出場回数	回目出場
			中段・上段・二刀		
剣歴（全国大会 以上戦歴等）					
宿泊予定場所 連絡場所					
<b>ドーピング検査に関する事項</b> 1. 私は、本大会においてドーピング検査を受けることに同意します。 2. 私は、世界アンチ・ドーピング機構(WADA)が規定するドーピング検査で 陽性となり、WADA または日本アンチ・ドーピング機構(JADA)によりドーピング違反との裁定を受け、その裁定に 不服である場合は、スポーツ仲裁裁判所(CAS)または日本スポーツ仲裁機構(JSAA)にのみ 仲裁申立をすることに同意します。					
<b>備考</b> 1. 各欄には必ず該当事項を楷書にて記入すること。 2. 職業欄の詳細記入は新聞報道および放送等の為必要に付きお願いします。 3. 剣歴を出来るだけ詳細に記入のこと。 4. 写真は1年以内のもの5cm×5cmの大きさ、2枚(カラー)、送付のこと。 ※ 写真の裏に県名・氏名を明記し、台紙等に貼らずに同封してください。					



審判主任	検査所責任者

## 剣道用具確認証

全日本剣道選手権大会会長 殿

本大会の出場にあたり、使用する用具について、「剣道試合・審判規則」および「大会要項」に即し、下記項目の確認いたしました。

日付： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 都・道・府・県

選手氏名： \_\_\_\_\_ 印

### 記

1) 竹刀関連：検査本数：合計 \_\_\_\_\_ 本（大会検査所提出本数）

- 竹刀の長さ（全長）が適正
- 竹刀の重さが適正
- 竹刀の先革先端部の太さ（対辺）が適正
- 先から8センチメートル部分のちくとうの太さ（対角）が適正
- 先革の長さが適正
- 中結の位置（＝全長の約1/4）が適正
- 各ピース（竹）の間隙がない
- 破損・ささくれはない
- 不当な付属品を使用していない
- 安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていない

2) 小手関連

- こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部））の1/2以上を保護している
- 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ぶとん部最長部と最短部の差が2.5センチメートル以内である
- 小手頭部・小手ぶとん部の十分な衝撃緩衝能力がある

3) 面関連

- 肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている
- 面ぶとんの十分な衝撃緩衝能力がある

4) 剣道着関連

- 袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れること）

以上

## 選手確認票

登録都道府県名

氏名

年齢

審査当日の体温

緊急時連絡先電話番号

## 大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上